

# リフォルト施工説明

## ■基本手順



### 1.環境・下地の確認

施工時の環境(湿気・温度)を確認してください。  
 下地がモルタル下地の場合、十分に乾燥しているかを確認してください。  
 ※下地の水分レベルはグレードI(水分計HI-520-2のD.MODEで440未満)としてください。  
 合板下地の場合、釘止めで、釘頭は良く打ちこんでであることを確認してください。下地のたわみや段差がないか確認してください。  
 砂や塵、埃等を除去し、適切な下地処理を行い、平滑でよく乾燥し、強固であることを確認してください。下地に不陸や隙間(フローリングの目地隙など)があるまま施工すると、施工後にタイルの表面に不陸や隙の形状が陰影として映ることがあります。  
 貼り替えの場合、下地に残った接着剤はきれいに除去、または下地補修材で平滑に仕上げてください。

#### 施工可能な下地

コンパネ/モルタル/クッションフロア(3.0mm厚未満)/フローリング(バックングの無いもの)

#### 施工できない下地

フリーアクセスフロア/クッションバックング付きのフローリング/3.0mm厚以上のクッションフロア/クッション性が高く沈み込みの激しい床材等  
 ※制電タイプのタイルではありませんので、帯電防止性能を求められる場所での使用は避けてください。

### 2.清掃

床の汚れ・ゴミ・塵などは接着剤の効力を弱めクレームの原因に繋がるため、清掃をしっかりと行ってください。

### 3.下地補修

下地の確認を行った時点で、下地の亀裂や平滑でない部分は、床用の下地調整材で補修してください。

### 4.割り付け(墨出し)

基準線を中心にして左右対称になるよう墨を打ってください。壁際には商品サイズの半分以下の端が入ることは、できる限り避けてください。そういった場合は基準線を中心からずらしていただく事をおすすめします。

### 5.接着剤の選択・塗布

#### ①かんたんリフォーム工法(ピールアップ工法)

GTS(BB-558・588)を専用ヘラ(BB-401)またはローラー(中毛)で平滑に塗布してください。専用接着剤GTSの塗布量は100g~150g/m<sup>2</sup>です。糊だまりや塗りムラがあると表面に塗布跡が現れる場合があります。ローラーで塗布する場合は、厚塗りを行ってください。  
 (1度塗りでは50g/m<sup>2</sup>しか塗布できません。)  
 塗布量が少ないと、接着力が不足し、突き上げや目隙の原因となります。

#### ②一般工法(接着工法)

PC-2(BB-576・577)をご使用ください。  
 ※完全接着するため剥がしにくくなります。  
 ※気温、下地を考慮し、各接着剤の適切なオープンタイムを取ってください。

#### ③耐湿・耐熱工法(水分が高い、または耐熱が求められる場合)

EP-300(BB-575・584)・WPX(BB-479・480)・WG(BB-601・602・603)をご使用ください。  
 ※完全接着するため剥がしにくくなります。

▶**注意** 吸水性の高い下地や、下地補修材で調整を行った箇所は、塗布量を増やしてください。  
 常に直射日光が当たる場合、床暖房を使用される場合は、耐熱工法を行ってください。

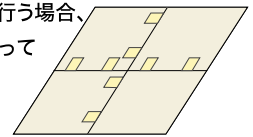
### 6.貼り付け

施工時の環時の室温は15~30℃を保ってください。施工時の室温とタイルに温度差があると、施工直後だけではなく、後日、目地隙き、突き上げが生じる可能性があります。

▶**注意** 10℃以下での施工は避けてください。

タイルの詰めすぎは、突上げの原因になりますのでお避けください。  
 夏場などの高温時は、『きつめ』に施工してください。

やむなく15℃以下でピールアップ工法を行う場合、同梱のスペーサー(0.2mm厚)を切り取って使用してください。



タイルにガラス織布が入っているため、

通常のタイルよりもしっかりとカッターを入れてください。

壁際、柱まわりに使用するタイルは、垂直にカットし、1~2mmゆとりを持たせて、貼り付けてください。

### 7.圧着

施工後はボンドローラーなどでよく圧着してください。  
 スペーサーの除去は圧着前に行ってください。  
 スペーサーをはずすタイミングが早いと、タイルがずれてしまう場合がありますので注意してください。

### 8.養生

施工直後はタイルの上をできるだけ通行しないようにするか、通気性のあるシートで表面を覆い、汚れが付かないようにしてください。  
 急激な温度変化によって、目地の突き上げや、表面の変退色が起こることがあります。

▶**注意** 直射日光が当たる場所ではカーテンなどで必ず日除けを行ってください。一般工法の場合は1週間程、耐湿・耐熱工法の場合は2日間程の養生が必要です。

## リフォルタ框材・見切材 施工説明

### ■基本手順



### ■框(かまち)材

玄関などタイルの側面が横から見えてしまう場合にご使用ください。

#### 1. 環境・下地の確認

施工時の環境(湿気・温度)を確認してください。  
下地がモルタル下地の場合、十分に乾燥しているかを確認してください。  
※下地の水分レベルはグレードI(水分計HI-520-2のD.MODEで440未満)としてください。

合板下地の場合、釘止めで、釘頭は良く打ちこんであることを確認してください。下地のたわみや段差がないか確認してください。

砂や塵、埃等を除去し、適切な下地処理を行い、平滑でよく乾燥し、強固であることを確認してください。下地に不陸や隙間(フローリングの目地隙など)があるまま施工すると、施工後に框材の表面に不陸や隙の形状が陰影として映ることがあります。

貼り替えの場合、下地に残った接着剤はきれいに除去、または下地補修材で平滑に仕上げてください。

下地は新規もしくは施工可能な既存の上り框、床材に施工してください。

#### 2. 清掃・下地補修

砂や塵、埃等を除去し、ひびやカケがあれば、適切な下地処理を行ってください。下地に不陸や隙間がある状態で施工すると、施工後に接着不良や段差、不陸の原因となります。

#### 3. 框材のカット

框材を施工場所に合わせてカットしてください。

#### 4. 接着剤の選択・塗布

##### 【工法1】下地に接着剤を塗布する工法

余分な箇所に接着剤がはみ出さないようにマスキングテープを貼り、接着剤を塗布します。框部分は普段の生活の中でも荷重や負荷のかかる部分ですので、より接着強度のあるWPX(BB-479・480)・WG(BB-601・602・603)を使用してください。



##### 【工法2】框材に接着剤を塗布する工法

框材に仮止め用に両面テープを角の溝部分から少し離れたところへ、溝の両側に貼ります。両面テープの離型紙に被るくらいに接着剤を塗布します。接着剤はWPX(BB-479・480)・WG(BB-601・602・603)を使用してください。また接着剤が商品の表側に付着しないよう注意してください。

\*BB-302 両面テープ 標準価格(税別) 380円/20m巻



### ■段鼻(角の部分)の補強

角に当たる段鼻部分は、特に負荷が掛かる場所ですので、工法1、2とも強度を上げるため、框材の裏面の溝に変成シリコン樹脂系シーリング剤、変成シリコン樹脂系または、シリル化ウレタン樹脂系接着剤を塗布してください。

\*HSシール(BB-553~555、562~564、574)

\*副資材(推奨品) ※以下の商品の同等品での施工が可能です。  
セメダイン(株) スーパーXシリーズ(変成シリコン樹脂系接着剤)  
コニシ(株) ウルトラ多用途SUシリーズ(シリル化ウレタン樹脂系接着剤)

#### 5. 貼り合わせ・圧着

オープンタイムを取ってから、下地に框材を貼り合わせ、ローラーでよく圧着します。

#### 6. リフォルタの施工

框を先に取り付けてからリフォームタイル「リフォルタ」の施工を行います。タイル用接着剤が框材に付着しないように養生をしてください。

### ■見切材

リフォルタの小口の処理にご使用ください。

※上から貼るだけで簡単に施工ができます。

#### ①見切り材のカット

見切材を施工場所に合わせてカットしてください。

#### ②貼り付け

裏面の両面テープの離型紙を剥がし、約5cm間隔で瞬間接着剤を塗布してください。

\*BB-546 ベンリダイン瞬間 標準価格(税別) 1,200円/本

\*BB-589 ベンリダイン瞬間ゼリー 標準価格(税別) 1,550円/本

見切材をつなげて施工する場合は、見切材の断面にも瞬間接着剤を塗布してください。

ローラーでよく圧着してください。



### ■注意事項

保管場所

高温場所(50°C以上)での保管は避けてください。